

# 平成25年度行政視察報告①

市議会の各委員会では、所管事項について先進的な取組みを行っている自治体に出向き、調査・研究する行政視察を行っています。

今回は総務文教委員会、建設産業委員会の行政視察について報告します。



弘前市西部学校給食センター

## 総務文教委員会

### 【秋田県大館市】 「行政協力委員制度」について視察しました。

日程：平成25年4月23日～25日  
【青森県弘前市】  
「弘前市西部学校給食センター」について視察しました。最新の設備で、衛生管理に配慮した構造で、子どもたちへの配慮や保護者の負担軽減目的などでアレルギーのある子どもへの対応に努められていました。

### 【秋田県能代市】 「学校教育」について視察しました。

学校規模適正化による統廃合等で学校環境を改善していました。また教職員同士の縦・横の意思疎通ができるシステムがありました。

## 建設産業委員会

### 【和歌山県海南市】 直立浮上式防波堤について視察しました。

（感想）

### 【和歌山県紀の川市】 「紀州熊野地域づくり学校」について視察しました。

給食センター設備費の縮減により作業スペースの縮小を図ったが、実際には狭

### 【参加議員】

大本益之

栗尾順三

大月隆司

### 【参加議員】

坂本公明

齊藤重雄

妹尾博之

くて効率が悪くなつた事例を紹介され、ある程度の余裕が必要なことが参考になりました。

大館市の行政協力委員の役割は町内活動等と明確に区分され、相応の報償金が支給されていました。本市でも委員の任務内容が増しており、規則の改定が必要と感じました。

そして能代市のふるさと教育や充実した補習授業を参考に、学校教育に、より積極的な取組みが必要と思いました。

紀の川市では、「食育のまち」として、農業者や農産加工グループ、そして地域の活性化を目指した取組みを重視していました。

（感想）

6次産業の推進では、農業者や農産加工グループを活性化し、付加価値を高めた商品の開発を進めるとともに、地域の活性化として、巨大地震等による津波の発生時に巨大な鋼管が海中から突き出て防波堤となる世界初の防波堤で、海上に浮上する鋼管の挿入工事を行つっていました。

また、津波対策には、既存の防波堤の改修や増設、水門並びに直立浮上式防波堤の新設等がありますが、地形にあつた、適切な組み合わせを持つた防御ラインの必要性を感じました。

ワードに、人材育成の場として『紀州熊野地域づくり学校』を開校しています。